

教育委員会会議次第

令和7年8月7日（木）15:05
小倉北区役所6階 教育委員会会議室

1 開 会

2 案 件

(1) 議案

議案第17号

「博物館協議会委員の任命について」

(自然史・歴史博物館 普及課長)

議案第18号

「北九州市学校給食審議会委員の委嘱について」

(学校保健課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- 1 開催年月日 令和7年8月7日(木)
- 2 開催時間 15:05~15:22
- 3 開催場所 小倉北区役所6階 教育委員会会議室
- 4 出席者 (教育長) 太田 清治
(教育委員) 大坪 靖直、郷田 郁子、香月 きょう子、中島 良、清成 真
- 5 事務局職員 教育次長 大庭 千枝
総務部長 富原 明博
学校支援部長 藤井 創一
教育研修監理官 澤村 宏志
総務課長 越智 豊
企画調整課長 栗原 健太郎
学校保健課長 藤田 真治
自然史・歴史博物館 普及課長 江藤 博明
- 6 書 記 総務課庶務係長 香月 亨太
総 務 課 橋 幸佑
- 7 会議の次第 別紙のとおり

教育委員会(定例会)会議録 (令和7年8月7日)

1 開 会

15:05 太田教育長が開会を宣言

2 会議録署名委員の指名

太田教育長が会議録署名委員に、大坪委員と清成委員を指名。

3 案 件

(1) 公開案件

議案第17号「博物館協議会委員の任命について」

本議案の提案理由を自然史・歴史博物館 普及課長が説明。

中島委員／前任者の任期はあらかじめ分かっているので、後任の選定については早めに検討しておく必要があるのではないかと。今までも、いわゆる充て職の委員が交代する際は、異動時期によるタイムラグからすぐに交代ができないということもあったと思う。今回の委員任命についても、前任の学生委員が令和6年度で卒業が見込まれていたことから、令和6年度中に後任を選定し、任期満了後速やかに後任の委員を任命する必要があったと考えている。

今回、任期満了から任命までタイムラグがあった経緯を教えてください。

自然史・歴史博物館普及課長／ご指摘のとおり、前任の学生委員は、令和6年度で卒業予定であったが、卒業して卒業により委員を辞めないといけないというルールはない。今回、前任者より、卒業をきっかけに、「委員を辞退したい」という申出があり、令和7年4月1日に辞表を出された。これを受けて、新たな委員の任命手続きに着手したことから、一定期間、後任の委員が不在の時期があった経緯がある。

中島委員／経緯は承知した。公募をする場合、今回のような期間が掛かるという理解でよいのか。

自然史・歴史博物館普及課長／今回、委員の募集については、5月1日から5月14日までの公募期間を設けている。その後、事務手続き等に1か月を要している。

公募の場合は、概ね今回と同じ程度の期間を要すると考えている。

中島委員／承知した。

郷田委員／博物館教委会の開催内容に「博物館の事業計画及び事業実績等について、意見を聴取する」という記載があるが、協議会では、どのようなことが報告され、委員からどのような意見が出ているのか。

自然史・歴史博物館普及課長／博物館協議会については、前年度の事業報告のほか、当該年度の事業計画を議題に、毎年9月頃開催している。加えて、博物館評価として、評価項目に沿って博物館の活動状況等について、協議会の委員に評価していただいている。

例えば「みらいのとびらオンライン授業」では、博物館が協力して実施しているが、委員より、その効果等について質問や意見をいただいている。

郷田委員／承知した。博物館の中でどのようなことが課題になっているのか、正確に認識していないが、例えば「来場者を増やしたい」とか「いろんな人に知っていただきたい」とか、広報等の知見がある方も、今後、委員に加えても面白いと思う。

原案可決

議案第18号「北九州市学校給食審議会委員の委嘱について」

本議案の提案理由を学校保健課長が説明。

香月委員／学校給食審議会では、どのようなことが審議されているのか。項目だけではなく、具体的に教えたい。

学校保健課長／給食審議会の審議事項としては、「給食の企画及び運営に関すること」「普及・発展に関すること」「指導方針に関すること」「その他学校給食に関すること」となっており、具体的には毎年1回、2月頃、定例的に審議会を開催している。例えば、昨年度は給食及び給食費の状況について説明し、審議いただいている。具体的には、献立作成の重点目標、残食率の状況、それから献立アンケートの状況、現在取り組んでいる「おいしい給食大作戦」の状況、物価高騰対策として実施する給食費の支援状況、それから食材の価格動向といったことを説明し、委員の方々から、それぞれの知見に基づく助言をいただいている。

香月委員／残食について少し気になっている。

食べ物を大事にするというのは非常に重要な観点ではあるが、コロナ禍以降、子どもの肥満が増えている。残食の削減についても、そういったことを助長することも十分あるので、残食をどう考えるのか、よくご検討いただきたいと思う。

学校保健課長／ご指摘のとおり、残食については、体格の個人差であるとか、そういったところも留意すべきと考えている。視点は異なるが、残食について、北九州市が課題として捉えているのは、現在、長期欠席している児童生徒分の給食についても調理し、各学級に配っているが、その残りも残食率に含まれている。

本来であれば、欠席している児童生徒分の給食を除いた形で、きちんとした、実際の残食量を把握する必要があると考えている。

香月委員／児童生徒の健康等にも非常に関与するところであるため、適切な把握をよろしく願いたい。

中島委員／委嘱する委員について異論は無いが、女性参画率について伺う。

ほとんどが充て職なので、女性参画率を上げるのは難しいかなと思いつつも、他の審議会や委員会よりも、女性参画率が少し低い印象がある。この点について、今後、何か見通しがあれば教えていただきたい。

学校保健課長／ご指摘とおり、今回の改選にあたっては、「できる限り女性の方の推薦をお願いできませんか」と各団体をお願いをしたところである。女性参画率の向上については、課題であると認識しており、引き続き、女性委員の確保に取り組んでまいりたい。

原案可決

4 閉会

15:22 太田教育長が閉会を宣言